

JLT200 日本史概説

2年 1,2クォーター

担当教員 長谷川 裕子

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

授業概要

古代から現代に至る日本の歴史は、社会の「進歩」を基軸に叙述されてきた。しかし、人類の歴史は、はたしてそのような単線的な発展過程を辿ってきたのだろうか。社会の「進歩」が排除してきたもの、およびそれによってもたらされる諸問題に留意しつつ、さまざまな可能性のなかで選択された歴史の道筋を、その時代に生きた民衆の視点で考えていく。また、ヤマト王権から明治憲法体制までの各時代の歴史的段階・特質を理解し、その結果として生み出された現代社会の歴史的な位置や課題を確認する。

到達目標

教科書を含め、歴史叙述とは一つの仮説であるということ、したがって歴史をみる視角によって多様な歴史像が可能となることを、現存する歴史資料を通じて考察する。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

小学館『日本の歴史』1～13巻

講談社『日本の歴史』00～18巻

吉川弘文館『日本の時代史』1～17巻

岩波書店『岩波講座日本歴史』1～16巻

授業の方法

担当教員による講義形式を基本とする。

成績評価

小テスト：

各授業後に配布される授業内容の確認を中心とした課題に文章で解答する。

学期末試験

試験期間に、歴史用語の説明および歴史的な事象に関する論述形式の試験を実施する。

成績

30% 小テスト

70% 学期末試験

授業スケジュール

第1回： 歴史学のなかの日本史

第2回： ヤマト王権の成立—「日本」の誕生—

第3回： 律令国家の形成—理想と幻想—

第4回： 「王朝国家」の展開—権門と武士の登場—

第5回： 「荘園公領制」の展開—再開発と私領形成—

第6回： 武家政権の誕生—鎌倉幕府への展開—

第7回： 幕府の法と「徳政」—「悪党」の形成—

- 第8回： 南北朝内乱の展開―「平和」の模索―
- 第9回： 室町幕府の展開―暫定的な「平和」―
- 第10回： 惣村の形成―「自力」の世界―
- 第11回： 戦国時代の特質―国民国家の源流―
- 第12回： 近世社会の成立―「平和」の実現―
- 第13回： 近世の平和―「いのち」へのまなざし―
- 第14回： 近世の改革―災害復興と社会政策―
- 第15回： 近代国家の形成―文明化がもたらしたもの―

事前・事後学習

- 事前学習：授業の一週間前に配布する授業レジュメを一読し、参考文献や辞書類、年表などを利用し、不明な歴史概念や用語について調べておくこと。
- 事後学習：授業聴講の後に、配付資料をもとに、講義の内容について復習し、各授業後不定期に実施する課題（小テスト）に文章で解答すること。